

様式第8号（第9条関係）

液化石油ガス設備工事概要書【バルク供給（バルク容器又はバルク貯槽）】

届出の内容		液化石油ガス販売事業者（予定）	
新設・変更		登録番号	事業者名称・販売所名称
工事従事者（設備工事に従事した者全員を記入）			
氏名	免状交付地	設備士免状No.	直近の講習受講年月日
	都道府県		年 月 日
供給設備の概要			
項目		対応事項	
(1) 緊急連絡先の表示等		表示内容（ ）	
(2) 基礎		平坦なコンクリート盤等 基礎の高さ <u>                    </u> c m $\geq$ 5 c m	
(3) 車両接触防止措置		（ガードレール・フェンス・その他 ）	
(4) 火気との距離		<u>                    </u> m（2 m以内の場合の措置 ）	
(5) 保安距離	バルク貯槽 1 t 未満	・第一種保安物件まで <u>                    </u> m $\geq$ 1.50 m ・第二種保安物件まで <u>                    </u> m $\geq$ 1.00 m ※保安距離が確保できない場合 <input type="checkbox"/> 加熱試験に合格する構造壁 <input type="checkbox"/> 貯槽を埋設する。（地盤面から <u>                    </u> c m） ・アースの有無（ ）	
	バルク容器 1 t 以上 3 t 未満	・第一種保安物件まで <u>                    </u> m $\geq$ 16.97 m ・第二種保安物件まで <u>                    </u> m $\geq$ 11.31 m ※保安距離が確保できない場合 <input type="checkbox"/> 障壁（高さ <u>                    </u> c m、壁厚 <u>                    </u> c m、 構造 <u>                    </u> ） ・火気施設との距離 <u>                    </u> m ・屋根又は遮へい板（薄鉄板・スレート・ ・消火設備（ ）	
(6) 強制気化装置		イ あり ロ なし ※イの場合、型式認定合格証を添付すること。	
ガス漏れ検知器・警報装置	バルク容器・貯槽のプロテクター内のガス検知器  有 ・ 無	消費者側ガス漏れ警報装置	
		設置年月日	設置個数
施工後の表示 （掲示したものと 同様に記入）	工事事業者の氏名又は名称	連絡先	施工年月日又は工事番号
配管の状況	(1) 配管がすべて露出	(2) の場合、埋設管の腐食防止措置	
	(2) すべて又は一部が埋設		

添付書類

- 案内図（施設又は建築物の位置を示す図）
- 供給設備付近の配置図（施設等の内における貯蔵場所を示す見取図）  
※火気距離、保安距離、火気施設距離等明記
- 配管図（アイソメ図）
- 気密試験結果（自記圧力計記録）
- 写真（容器又は貯槽の周辺、埋設配管、ガス漏れ警報装置等）
- バルク貯槽の場合は、特定設備検査合格証又は特定設備基準適合証の写し